



お腹がいたいとき

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内
ふなばし健康ダイヤル 24 (36ページ参照) ☎ 0120-2784-37

熱、吐き気、下痢がないか、よく観察しましょう。

お腹を抱えこむように痛がらないか、お腹が張っていないかも見てください。

赤ちゃんがわけもなく繰り返し泣くときは、お腹が痛い可能性があります。また、排便で治ることもあります。

我慢できる痛みになり、全身状態が良ければ、通常の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

- ぐったりして泣いてばかりいる。
- また、は股の付け根が腫れている。
- 赤ちゃんが足をちぢめて激しく泣いたり、間隔をおいて発作的に激しく泣く。
- ウンチに血が混じっている。
- お腹がバンパンに張っている。
- お腹をかがめて痛がる。
- お腹を触ると痛がる。
- お腹が痛くて歩けない。
- ジャンプ、ケンケンなど飛び跳ねるとお腹を痛がり、繰り返せない。
- 下痢、おう吐を伴っている。



ワンポイントアドバイス



3歳以下の子どもは受診前に下剤や浣腸かんちようを使わないようにしましょう。



痛がり方の様子、息のにおいを観察しましょう。



腹痛が軽いときは、無理に食べさせないで水分を少しずつ与え、様子を見ましょう。